

## 「メタルフリー治療」という言葉をご存知ですか

虫歯治療の際に使用する金属

# パラジウムは体へ有害な影響を与える

鎌田 俊 シュンデンタルクリニック院長

皆様は「メタルフリー治療」という言葉をご存知でしょうか。食べ物や飲水の汚染に関しては非常に敏感ですが、歯の治療に用いられている素材について深く考えたことはありませんか。健康保険の治療で使用される金属の多くは、アレルギーの原因になる可能性があります。また、メタルフリー治療は口の中の有害な金属を排除し、健康にも見た目にも良い環境を提供する治療法です。

保険診療で行われている虫歯治療の際に使用する金属に「パラジウム」という成分が含まれています。パラジウムは口の中で時間をかけてゆっくりと溶け出し、腎臓や肝臓、甲状腺、脳内に蓄積され体に対し、有害な影響を引き起こすと言われています。また、パラジウムは体内の細胞を傷害する」という報告や遺伝子の損傷、分解を引き起こすという指摘もあります。その他にも、金属アレルギー、皮膚炎、口内炎を引き起こすということも指摘されています。これらの原因はパラジウムのもつ細胞毒性と体内への高い移行性が原因だと言われています。スイスでは歯科医師によるパラジウム使用を禁止しました。ドイツでは1993年以降、パラジウムを使用した歯科医は警告歯科医とされます。虫歯治療で用いられるパラジウムという金属は、体への有害な影響が起る可能性が多くの論文で示唆されています。

長い目で見たときに、適切な素材を選択することで、口のみならず、体全体の健康寿命が伸び、健康で働く時間が増えると考えます。一年でも長く働くことができれば、少しでも歯の治療にお金を使うことは決して悪い選択ではないと考えます。今回は、メタルフリー治療にはどのような種類があるのかについてお話しする予定です。



シュンデンタルクリニック



### PROFILE

かまだ しゅん 平成16年岩手医科大学卒業。  
平成18年岩手医科大学口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔分野。  
平成23年岩手医科大学大学院卒業(博士号取得)。平成27年秋田厚生連雄勝中央病院(非常勤)。平成28年岩手医科大学非常勤講師。同年函館市内にシュンデンタルクリニックを開院。  
日本歯科麻酔学会認定医、日本顕微鏡歯科学会、  
SJCD (Society of Japan Clinical Dentistry、歯科スタディグループ) 理事。

